

2020年12月期 3Q決算説明資料

The logo for GMO TECH, featuring the letters 'GMO' in a bold, blue, sans-serif font, followed by 'TECH' in a lighter blue, sans-serif font.

東証マザーズ＜6026＞

2020年11月6日

1. 結論と要約
2. 2020/3Q決算概要
3. 事業概況
4. 子会社状況
5. 総括

1. 結論と要約
2. 2020/3Q決算概要
3. 事業概況
4. 子会社状況
5. 総括

決算サマリ（連結）

アフィリエイト広告の計画未達と、新設子会社
GMOReTechへの投資により収益化が遅れている状況

（単位：百万円）

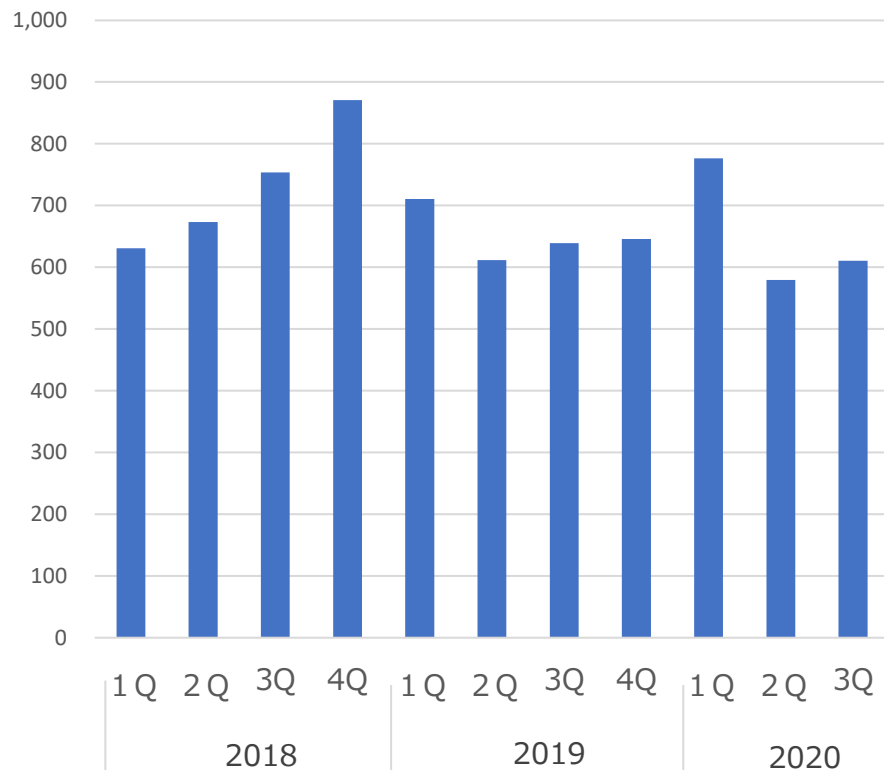
	2019/ 1-9月	2020/ 1-9月	対前年 同期差額
売上高	1,960	1,966	+6
営業利益	37	2	▲35
経常利益	45	6	▲39
当期純利益	142	4	▲138

売上高・営業利益推移（連結）

第3四半期での営業生産性の向上が遅れ、
営業利益の伸びに影響が出ました。

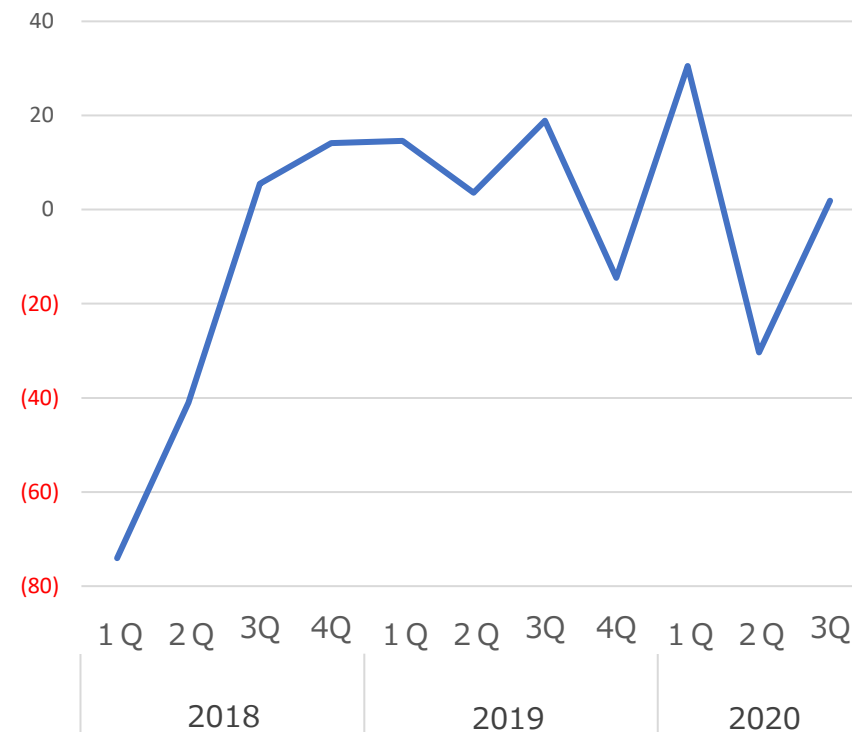
四半期売上高推移

単位：百万円



四半期営業利益推移

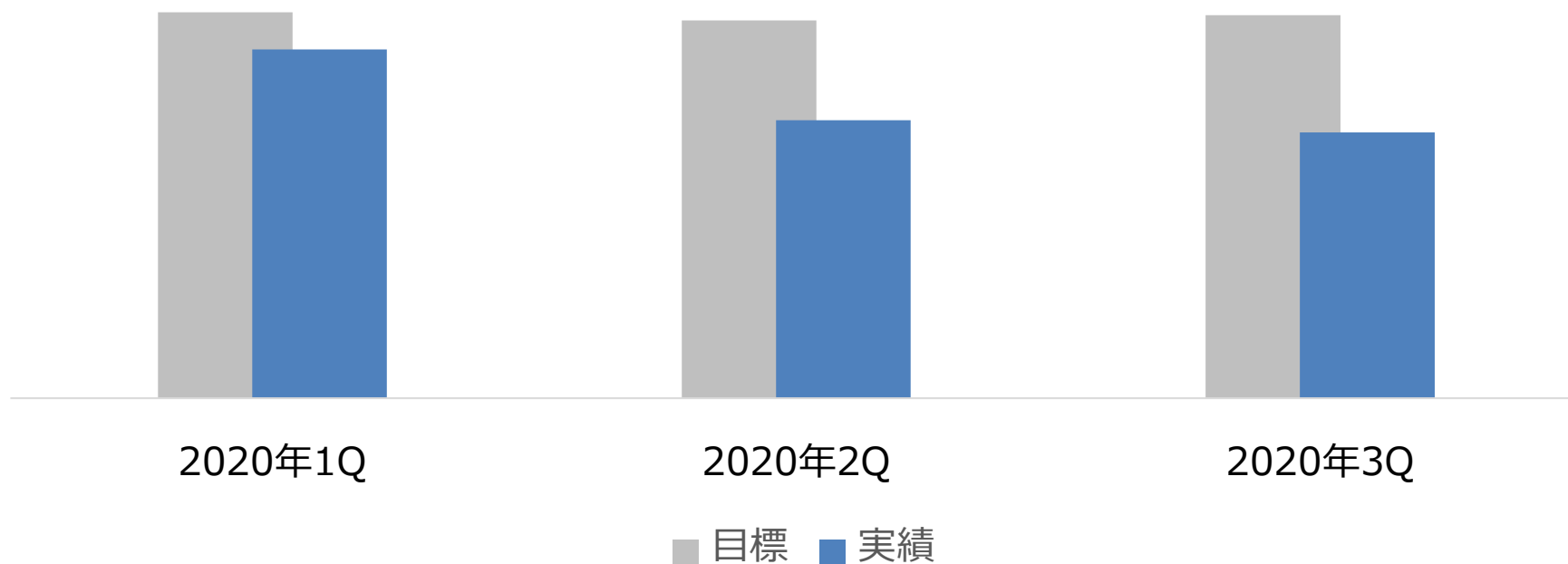
単位：百万円



第3四半期要因

- アフィリエイト広告の大幅な計画未達
- 新設子会社 GMO ReTech への戦略的投資

アフィリエイト広告 売上推移



1. 結論と要約
2. 2020/3Q決算概要
3. 事業概況
4. 子会社状況
5. 総括

貸借対照表サマリ

財務基盤は安定的に推移

(単位：百万円)

	2019/ 12月末	2020/ 9月末	増減(%)
流動資産	1,058	958	▲9%
（現金預金）	560	444	▲21%
固定資産	155	153	▲1%
資産合計	1,213	1,111	▲8%
流動負債	371	329	▲1%
固定負債	9	18	+97%
負債合計	381	347	▲9%
純資産	831	764	▲8%
自己資本 （うち利益剰余金）	822(377)	754(310)	▲8%
（自己資本比率）	68%	68%	
負債純資産合計	1,213	1,111	▲8%

* 2020年7月に連結子会社GMOReTechを設立しております。2020年9月末数値は連結貸借対照表金額となります。

損益計算書サマリ

(単位：百万円)

	2019/ 1-9月	2020/ 1-9月	業績予想	前期比
売上高	1,960	1,966	3,100	0%
売上原価	1,397	1,368		
売上総利益	563	598		
販売管理費	526	596		
営業利益	37	2	50	▲95%
営業利益率	1.88%	0.11%		
営業外収益	13	5		
営業外費用	5	1		
経常利益	45	6	50	▲87%
特別損益	126	0		
法人税等	29	1		
当期純利益	142	4	20	▲97%

* 2020年7月に連結子会社GMOReTechを設立しております。2020年9月末数値は連結損益計算書金額となります。

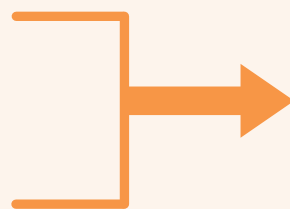
1. 結論と要約
2. 2020/3Q決算概要
- 3. 事業概況**
4. 子会社状況について
5. 総括

サービス別セグメントの統合

本四半期より、
「SEM・SNS広告」と、アフィリエイト広告を統合し
「広告サービス」といたしました。

①SEM・SNS広告

②アフィリエイト広告



広告サービス

- 含む
- ・検索エンジン関連
 - ・運用型広告
 - ・アフィリエイト広告

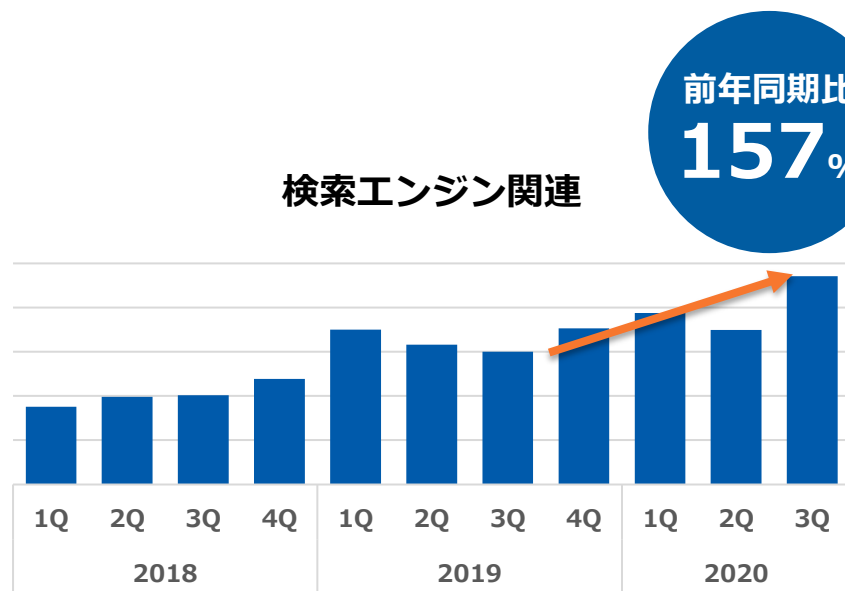
広告サービス 第3四半期の振り返り

■ リソース集中により検索エンジン関連が伸長 人材業界メインの運用型広告はシュリンクが続く

営業資源を好調な「MEO」に集中させ検索エンジン関連は対前年同期比で157%成長。

運用型広告に関しては予算縮小と顧客解約が継続し大幅な売上減少。

検索エンジン関連及び運用型広告の売上推移



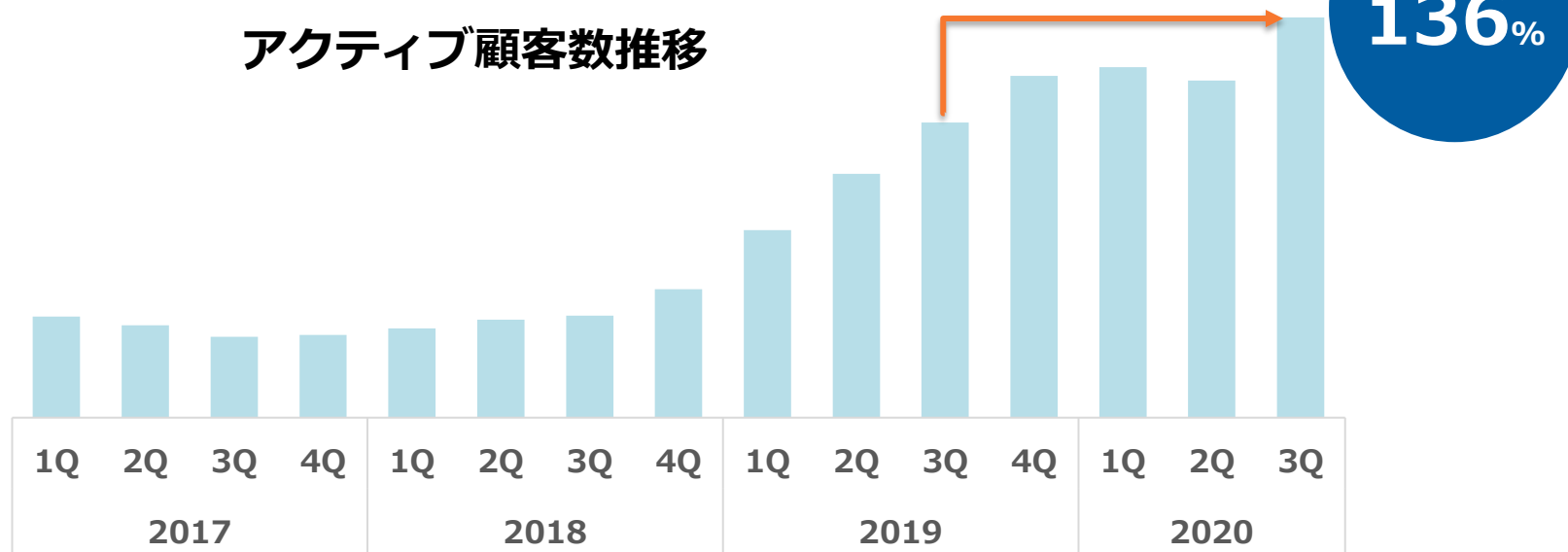
広告サービス 第4四半期の取り組み

■ 堅調に成長を続けるMEOへポイント集中

営業体制強化とCSによる徹底した顧客サポートに加え、昨今のDX推進ニーズの追い風も受けGoogleマイビジネスを活用したMEOが好調に推移。

国内No.1の顧客数、上位表示率に加え、店舗集客の分析機能、独自の店舗来店計測機能などの差別化機能を拡張。店舗事業者のニーズに応えるプロダクト強化に徹する。

アクティブ顧客数推移



1. 結論と要約
2. 2020/2Q決算概要
3. 事業概況
4. 子会社状況について
5. 総括

子会社の状況について

■ GMO賃貸DXの方向性

- ・ GAFAに依存しないストックモデルを作る
- ・ これから新たなビジネスチャンスのあるDX領域に集中
- ・ グループシナジーで勝負する
(銀行、決済、電子契約等 他)

■ 商品計画

リリース予定日	サービス
2020年12月 (予定)	オーナーアプリ
2021年1月 (予定)	入居者アプリ
2021年4月 (予定)	不動産特化電子契約
2021年4月 (予定)	不動産特化バーチャル口座

1. 結論と要約
2. 2020/2Q決算概要
3. 事業概況
4. 子会社状況について
5. 総括

2020/3Q総括と4Q行動

3Q総括

- ・ リソース集中、検索エンジン関連が伸長
- ・ 人材業界メインの運用型広告はシュリンクが続く
- ・ アフィリエイト広告の計画未達

4Q行動

TECH

- ・ 検索エンジン関連の「MEO」へポイント集中
- ・ 差別化機能を拡充し店舗事業者様のニーズに応えるプロダクト強化

ReTech

- ・ サービス開発に集中

GMO TECH

本資料には、2020年11月6日現在の将来に関する前提、見通し、計画等に基づく予測が含まれています。世界経済、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや天変地異などの不確定要因により実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。またマーケットシェアなどの数値について一部弊社推計値が含まれております。調査機関によって異なる可能性があります。

また本資料に掲載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。また本資料内に記載されている業績予想などの将来の予測に関するものは、リスクや不確定要因を含みます。実際の業績は経済情勢や市場環境など、さまざまな要因により、かかる予想とは大きく異なることがあることをご承知おきください。当該情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではありません。